

ニプログループ ソーシャルファイナンス・フレームワークの概要

2021年9月策定

2023年8月改定

グループ概要

経営理念

未来に向かって、世界の人々に健康を支え、医療ニーズに応える商品、技術及び事業の創造革新を行い、社会に貢献し、自己実現を図る。

行動指針

- ▶ 患者さん目線、ユーザー目線に立って、「医療機器部門」「医薬品部門」「ファーマパッケージング部門」が三位一体となり、医療現場のニーズに革新的かつ安全対策世界一、不具合ゼロの商品、技術、事業で応えること
- ▶ 戦略推進にあたっては、「三方良し」の考え方にもとづき、会社、ユーザー、社会の3者の利潤追求を行うこと
- ▶ グローバル展開については、「地産地消」の考え方にもとづき、生産および販売網を築き、世界の人々に貢献すると同時に安定供給に寄与すること

事業内容



医療関連事業

当事業はグローバルに開発・製造を行い、注射・輸液や透析治療関連製品、糖尿病治療や人工臓器関連製品のほか、細胞医薬品の販売も行っています。

透析関連製品



ホスピタル関連製品



バスキュラー製品



医薬関連事業

世界をけん引する医薬品受託製造開発期間の一つとして、当事業は経口剤、注射剤、外用剤等の受託製造を行っており、国内・海外の製薬会社へ製品供給を行っています。

注射剤



経口剤



外用剤



ファーマパッケージング事業

創業以来の事業の一部として、当事業はガラス製品やその他医薬品容器の包括的な製造販売を行っています。現在、日本、中国、ヨーロッパ、米国を中心に8か国、11の企業、14の工場を拠点にグローバルに事業を展開しています。

ガラス容器



生地管



投与・調製デバイス



ソーシャルファイナンス・フレームワークの概要①

- 当グループは、医療機器・医薬品等の安定供給という社会に必要不可欠な取り組みを通じて、世界中の人々の健康とQOL向上に貢献しています。これらの取り組みは、ソーシャルプロジェクトとして社会的課題の解決に資するものと考えています。
- 事業に要する資金をソーシャルファイナンスとして調達するため、2021年9月にソーシャルファイナンス・フレームワークを策定しました。この度、調達会社の対象をニプログループ会社に広げること、2023年改訂版のソーシャルボンド原則、ソーシャルローン原則、金融庁のソーシャルボンドガイドラインに適合する内容とすることを目的に改定を行いました。
- 尚、ソーシャルファイナンス・フレームワークに対する第三者評価として、株式会社格付投資情報センターより「セカンドオピニオン」を取得しています。

1. 調達資金の使途

- 資金調達者はニプロ株式会社とその子会社とします（「子会社」とは、会社法第2条の定義に拠る）。
- 本ソーシャルファイナンス・フレームワークによる調達資金は、以下のプロジェクトの設備投資又は研究開発費に対し、新規資金又は借換資金として充当を予定しています。

対象事業	主な資金使途
国内事業	医療機器製造工場や再生医療関連施設等の設備投資や医薬品等の研究開発 例：ダイアライザ製造ラインの増設、再生医療等製品製造施設の培養設備更新
国際事業	医療機器製造工場等の設備投資 例：ダイアライザ製造ラインの増設
医薬事業	受託医薬品製造工場等の設備投資 例：シリンジ製剤の製造設備の増設（ワクチン接種を見込んだ備蓄用シリンジ等を製造）
ファーマパッケージング事業	医薬用包装材料製造工場等の設備投資や医薬用包装材料等の研究開発 例：生地管製造設備の新設（ワクチン開発メーカー向けバイアル等を製造）

ソーシャルファイナンス・フレームワークの概要②

2.プロジェクトの評価と選定プロセス

- 当グループは、「真にグローバルな総合医療メーカー」として「未来に向かって、世界の人々の健康を支え、医療ニーズに応える商品、技術及び事業の創造革新を行い、社会に貢献し、自己実現を図る」ことを経営理念に掲げています。この社会貢献を謳う経営理念のもとで当グループは事業を行っており、それら事業は社会的課題の解決に資するものであり、全事業がソーシャル性のあるものと認識しております。また、経営理念に沿う形で中期経営計画を策定しており、これらの事業を継続していくことを中長期的にコミットしております。なお、中期経営計画策定のプロセスについては、経営企画本部経営企画部が社内各部と連携した上で原案を作成し、取締役会決議にて承認を得ています。
- また、対象プロジェクトの選定プロセスについては、上記記載の通り、中期経営計画で策定された各事業の方針に基づき、経営企画本部経営企画部が設備投資又は研究開発費に該当するプロジェクトの評価・選定を実施し、財務担当役員の承認を得ます。加えて、取締役会において、財務担当役員より報告を行います。なお、子会社のプロジェクトの場合は、ニプロにおいて上記の選定プロセスにて判断を行ったうえで子会社に通知します。

ソーシャルファイナンス・フレームワークの概要③

3. 調達資金の管理

- ソーシャルファイナンスにより調達した資金は調達会社（発行体）名義の当座預金口座または普通預金口座に入金される予定です。ニプロの場合、調達した資金の管理は、経営企画本部経理部が行います。対象プロジェクト実施にかかる支払は、プロジェクトの支払証憑書類（請求書等）を受領する部署の確認、及び依頼に基づき、同部が行います。また、同部にて対象プロジェクトにかかる支出を社内会計コードにて抽出し、資金の充当額及び未充当額を確実に追跡します。未充当資金は、社内規程に基づき流動性・安全性の高い金融資産に限定して運用します。加えて、財務担当役員による資金充当状況の確認を年次で行います。
- 子会社の場合、資金の管理および対象プロジェクト実施にかかる支払いは、各社の経理部が担い、上記と同様の手続きを行うことに加え、決算毎にニプロ経営企画本部経理部に報告することにより、資金充当が完了するまでニプロの経営企画本部経理部が確実に追跡する体制を整えております。子会社の資金充当状況の確認も親会社同様、財務担当役員による確認を年次で行います。
- これら調達した資金は、個別社債・借入金の単位で管理します。

レポート

1. 資金充当状況に関するレポート

- 資金の充当状況は、年に1回、ニプロのウェブサイトにて公表します。また、調達資金における新規資金及び借換資金への充当割合を公表します。
- 調達資金は主に、医療機器・医薬品・医薬品包装材料製造工場並びに再生医療関連施設等の設備投資資金又は医薬品等の研究開発資金の新規資金又は借換資金に充当する予定です。

2. インパクト・レポート

- 調達資金の全額が対象プロジェクトに充当されるまでの期間において、対象プロジェクトのインパクト・レポートとして、守秘義務の範囲内において、以下のアウトプット指標・アウトカム指標等を、当社ウェブサイトにて公表します。




対象事業	アウトプット指標	アウトカム指標
国内事業	<ul style="list-style-type: none">医療機器製造数増加率自社ブランドジェネリック医薬品製造数増加率細胞医薬品製造能力	<ul style="list-style-type: none">医療機器販売数増加率自社ブランドジェネリック医薬品販売数増加率細胞医薬品販売数
国際事業	<ul style="list-style-type: none">医療機器製造数増加率透析センター数増加率トレーニングセンター数	<ul style="list-style-type: none">医療機器販売数増加率透析センターの治療患者数増加率トレーニングセンターの利用者数
医薬事業	<ul style="list-style-type: none">受託医薬品製造数増加率	<ul style="list-style-type: none">受託医薬品出荷数増加率
ファーマパッケージング事業	<ul style="list-style-type: none">製品製造数増加率	<ul style="list-style-type: none">製品販売数増加率

(ご参考) 事業全般に係る情報公開

- 中期経営計画やアニュアルレポート等、グループの事業全般に係る情報、および有価証券報告書・決算短信等の財務状況に係る情報をニプロウェブサイトにて公表しています。<https://www.nipro.co.jp/ir/library/index.html>

本フレームワークによるSDGsへの貢献①

- 対象プロジェクトは、国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」、日本政府のSDGs実施指針等にも合致するものです。ICMA のSDGs マッピングを参考にしつつ、当社では、以下のSDGs の目標およびターゲットに貢献すると評価しています。

対象プロジェクト	SDGs目標	主な資金使途
国内事業	  	<ul style="list-style-type: none"> 人工透析が必要な患者さまの生命維持、健康改善、生活の質向上にとっては、必要不可欠な医療機器であるダイアライザを製造・販売 新型コロナウイルス等、新規感染症が流行した際、世界的に需要が高まる、外科用マスク、医療用ゴム手袋、チューブ等の消耗品、採血管、消毒剤等を製造・販売 医療費削減に寄与する自社ブランドのジェネリック医薬品を製造・販売 採算性が悪く、原薬調達に供給不安がある抗菌薬を製造・販売 視覚的困難をかかえる方が錠剤識別できたり、服薬指導や服薬日を書き込めたり、手先の不自由な患者さま用のPTP シート等の年齢や体の不自由さにかかわらず、支障なく使用できるよう配慮された製品を提供・販売 将来の原薬供給不安に備え、一部の抗菌薬において原薬自社開発 離れた場所でも、患者さまの情報をリアルタイムに把握できるICT を活用したクラウド型見守りシステム「ニプロハートライン™」を販売 医療機器情報を電子カルテと連携することにより業務の課題を解決し、医療従事者の働き方改革をサポートするシステム「ニプロ HN LINE®」を販売

本フレームワークによるSDGsへの貢献②

対象プロジェクト	SDGs目標	主な資金使途
国際事業	  	<ul style="list-style-type: none"> 人工透析が必要な患者さまの生命維持、健康改善、生活の質向上にとっては、必要不可欠な医療機器であるダイアライザを製造・販売 中南米等の新興国において、都市部から離れた地域に居住する患者さまのために、郊外地域に透析クリニックを開設し、利便性の良い透析治療を提供 東南アジアやアフリカにおいても、都市部に透析クリニックを開設し、質の高い治療を提供 新型コロナウイルス等、新規感染症が流行した際、世界的に需要が高まる、外科用マスク、医療用ゴム手袋、チューブ等の消耗品、採血管、消毒剤等を製造・販売
医薬事業		<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の研究開発から供給までの水平分業化を進める中でリスク低減、効率化進展により医療費削減にも寄与する製造受託医薬品を製造
ファーマパッケージング事業	 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器使用中の医療事故を防ぐため、針刺し事故防止機能がついた翼付針、取り違えを防ぐ色で見分けられるシリンジ、異物混入、細菌汚染、針刺し事故のリスクが軽減できるプレフィルドシリンジ、キット製剤等を製造・販売